

令和元年（2019年）9月7日（土曜日）

補助金
支出問題
三島市

環境活動家
渡辺氏
豊岡市長、担当部長ら

虚偽公文書作成など告発

三島市に事務局を置く「地域ブランド推進協議会」への市の補助金支出を巡り、2016年当時の市担当職員らが虚偽の公文書を作成したなどとして、三島市の環境活動家渡辺豊博氏(69)が6日、虚偽有印公文書作成と同行使用容疑の告発状を三島署に提出した。

被告発人は豊岡武士市長と、当時の地域活性化戦略監、産業振興部長ら。具体的な虚偽行為として「補助金交付に必要となる手続きの審査会を、実際には開いていないのに『審査会を実施し、審査員の了承済み』と記載した虚偽の稟議(りんぎ)書を作成し、同推進協議会に補助金200万円を不正に交付させた」としている。

渡辺氏は今回の『刑事告発』は、具体的な証拠書類を根拠・証拠として、補助金の目的外使用に関わる新たな虚偽事実を含めて『刑事告訴』することで、指示者の特定と、虚偽行為の罪状を確定し、厳罰をもって厳重に処罰することを目的としている」と説明した。

補助金の虚偽交付問題については、市内の主婦らによる刑事告発の動きを受けて、市が18年12月から12回の調査委員会を開催し、今年8月に「上層部の職員が当時の起案者に対し、記述を改めるように指示した可能性が高いが、直ちに違法となるような根拠は見当たらない」とする最終報告をまとめている。

市は「告発状を見ていないので、コメントできない」とした。